

令和2年 春季 ドローン実証（災害応急支援物資輸送）

八鹿病院から八木川上空を飛び出合診療所周辺まで

養父市では国家戦略特区の新たな提案として「農業へのドローン活用をはじめ中山間地域における災害対応や物流、医療など」様々な分野に活用が期待できる可能性の検討及び技術実証などに取り組んでいます。

この度、参加企業の日本航空（株）（実施主体）、産業分野で世界有数のテラドローン（株）（技術提供）から令和2年春季より養父市内をフィールドにドローン実証実験の打診があり養父市が受け入れ協力を行うことになりました。

当協議会も出合校区の地域特性や将来を見据え、市と連携、協力関係を進めます。

協力機関： 公立八鹿病院組合、出合診療所、出合校区協議会

実証内容： 八鹿病院敷地から八木川上空（高度 100～150m）をドローンで飛行。出合診療所周辺まで、災害応急支援物資を輸送する。



出合診療所周辺を試運転飛行するドローン（写真 固定翼・全長235cm・重量6kg）。令和元年9月からテラドローン（株）により市内各所（全天候運動場⇒氷ノ山国際スキー場周辺⇒杉ヶ沢高原・出合校区周辺等）を実証にむけ調査、試運転飛行等を随時実施中。

主な事業計画等

1月15日(水)19:30 文化部会
1月22日(水)13:00
出会いカフェ 誰でも参加 OK
です



1月20日(月)19:30 正副会長会
1月22日(水)19:30
健康福祉部会、環境安全部会
1月28日(火)19:30
自治振興部会

主な活動経過等

12月17日(火)自治振興部会
12月19日(木)養父公民館
特産品開発セミナー参加 加工2名
12月25日(水)出会いカフェ
12月27日(金)仕事納め
12月随時正月用もちつき
1月6日(月)仕事始め

日本ジカ 但馬北西部 個体数爆発的増加 20,000頭超え 養父市の令和元年度 日本ジカ目標捕獲数【4,213頭】

兵庫県は第2期管理計画に基づき養父市の元年度日本ジカ目標捕獲数【4,213頭】と定め地域の実情に応じた個体管理を行う計画です。この一環として 生息密度の高く個体数が爆発的に増加している地域（但馬北西部）では、有効な対策が不可欠な状況となっております。

元年度養父市目標捕獲数 4,213頭
(参考 H29 年度 3,811 頭捕獲)

対策として令和元年度 指定管理
鳥獣捕獲等事業(氷ノ山山系)捕獲
困難区域(轟、安井、鶯縄)を行いました。

令和元年度 事業実施捕獲実績 11月末現在
くくり罠 86頭 箱罠 3頭 銃 20頭 計 109 頭



(写真)有効な「くくり罠捕獲」日本ジカ



あけまして

おめでとうございます

新年 あいさつ

出合校区協議会 会長 米田 渡

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

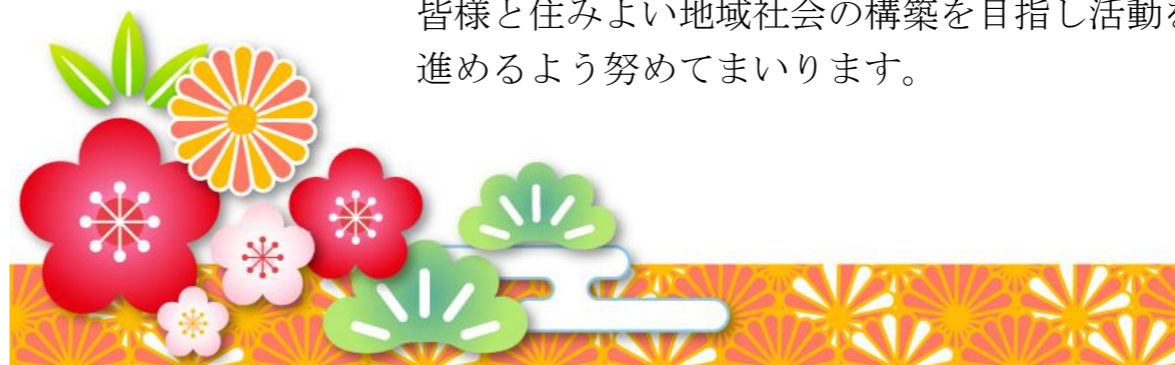
さて、今年はどうなるのでしょうか。よく「一年の計は元旦にあり」と言いますが、月日の経つのも早いものです。目標を定め計画的に活動することが大切ではないでしょうか。日々、目の前の事にどうしても追われがちになりますが、無理をするのではなく自分自身に可能な範囲で目標を立て実行していきたいと思ひます。

目標があれば達成できたときの喜びがありますが、どんな仕事でも継続していくためにはモチベーションが必要です。モチベーションを何に求めるかは人により違いますが、人に喜ばれる事は大きな楽しみになります。出来るだけ沢山のひとと情報を共有し、共感、喜び合える仕組みがあれば活動に意義があり継続するモチベーションとなると思ひます。

元旦の年賀状に今年の抱負として、私の友人は正直に暮らしたいと書いていました。正直、何と良い言葉でしょう。

生活する中で自分自身に正直に生きる、何が良い事で何が悪い事か、人の目も気になりますが良い事は良い、悪い事は悪いと自分自身に正直な生活を私も心掛けていきたいです。

最後になりましたが、出合校区協議会も新しい時代を迎え校区民の皆様と住みよい地域社会の構築を目指し活動を進めるよう努めてまいります。



であいの里広報

2020/1/15No.111

出合校区協議会
(であいの里)

(電話) 667-8020
(Fax) 667-8022

<http://www.deaikyo.com/> (ホームページ)

[facebook](#) 出合校区協議会 検索

【十二支のはじまり】
12月のある日、神様は動物たちを集めて言いました。「来年の1月1日に私の家でごちそうするから来て下さい、12番目までに来るとご褒美があります」

ねずみは早く神様の家に着きたので、外で寝ました。ねずみが朝起きると、うしの背中で寝ていました。うしは足が遅いので早くに出かけたのです。神様の家に着くと、ねずみはうしの背中から飛び降りて、神様の家に1番に着きました。その後、他の動物たちも次々にやってきました。神様からご褒美の発表があり、1番目だったねずみのために、今年を「ねずみどし」にする、と発表しました。その後、着いた順番に「うしどし」、「とらどし」、…と決まり十二支と呼ぶことになりました。しかし、ねこはねずみに騙されて来なかったため、「ねこどし」はありません。

(引用元: やまかみかずひろ・荒井良二著 十二支のはじまり 小学館)